

報告事項キ

平成26年度鳥取県教育研究大会の開催概要について

平成26年度鳥取県教育研究大会の開催概要について、別紙のとおり報告します。

平成26年12月22日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

平成26年度鳥取県教育研究大会の開催概要について

小中学校課

1 趣旨

県教育委員会では、学ぶ力や、豊かな人間性と社会性の育成を図るため、各学校の取組への支援を進めている。

本研究大会は、鳥取県教育振興基本計画に掲げる「自立して心豊かに生きる 未来を創造する 鳥取県の人づくり」の基本理念のもと、基調講演、県教育委員会事務局報告、各校種における実践事例の発表をとおして、県内各校での児童生徒の学びの質を高め、豊かな人間性や社会性を育む学校作りの推進を図る。

2 概要

(1) 日時 平成26年12月11日(木)
午前10時から午後4時40分まで

(2) 会場 鳥取県立倉吉未来中心

(3) 参加者数 295名(教育関係者等)

(4) 内容

①講演「未来を拓く子どもたちに求められる力の育成」

講師 鳴門教育大学
教授 村川 雅弘 氏

②分科会Ⅰ (概要別紙資料)

三朝町立竹田保育園・中部教育局、鳥取県立米子西高等学校、日野町教育委員会、鳥取県立鳥取養護学校

指導助言者 教育局係長、特別支援教育課係長、高等学校課係長、担当指導主事

③分科会Ⅱ (概要別紙資料)

鳥取市立散岐小学校、南部町立会見小学校、米子市立尚徳中学校、鳥取県立米子高等学校

指導助言者 教育局係長、担当指導主事



3 成果

○新たな課題に対して、協力し知識を総動員して主体的に取り組む力こそ、「未来を拓く子どもたちに求められる力」であるということを共通理解することができた。

○学校体制をして、「安心安全」「学習規律」「学習技能」「教科学力」「自己目標」といった学びのインフラを整える大切さを確認することができた。

○各分科会では、各校種における実践事例の発表をとおして、児童生徒の学びの質を高め、豊かな人間性や社会性を育む学校づくりや校種連携の重要性を再確認することができた。

<参加者の感想(アンケートから)>

- ・村川先生の講演がとても良かった。総合的な学習でつきたい力を様々な教科につなげていく大切さがよく分かり、培われた基礎力が学力の向上につながっていくということが改めて認識できた。
- ・鳥取県が進める教育の方向性が確認でき、得るものが多かった。どの実践も課題解決に向けた真摯な取組で刺激的であった。学校に持ち帰り、自校の実践に向けて具体化していきたい。
- ・高校からみた、高校生のキャリア教育の課題が挙げられており、小中の系統的なキャリア教育でつけるべき力を明確にしておく必要があると感じた。
- ・分科会ではそれぞれの学校の課題に応じた取組が発表され、とても参考になった。それぞれが素晴らしい実践であるが、学校の規模や児童の状況等、それぞれ違うからこそ、「特色ある学校づくり」であると思う。

(別紙資料)

分科会 I の概要

1 実践事例の発表（実践報告20分、質疑応答10分、講評5分）

1	「『遊びきる子ども』の育成と小学校への円滑な接続」 ～子ども主体の保育をめざして～	三朝町立竹田保育園 中部教育局
2	「国政選挙と連動した模擬投票の実施」 ～未来の主権者を育成するために～	鳥取県立米子西高等学校
3	「子どもたちの学習意欲を高め、確かな学力の定着を図る」 ～日野町保小中一貫教育における小小連携、小中連携の取組みから～	日野町教育委員会
4	「ICT機器を活用した授業づくり」 ～児童生徒の興味・関心を大切にしたい取組みから～	鳥取県立鳥取養護学校

2 取組の概要

三朝町立竹田保育園

- ・「鳥取県幼児教育振興プログラム（改訂版）」「鳥取県幼保小連携カリキュラム」、めざす幼児の姿「遊びきる子ども」の育成、市町や園の実態に合わせた幼児教育・保育の充実のための様々な取組

鳥取県立米子西高等学校

- ・若者の投票率の低下、選挙権の年齢引き下げや成人年齢の引き下げ、高校教育での主権者教育の重要性、第23回参議院議員通常選挙（平成25年7月21日投票）と連動した模擬投票

日野町教育委員会

- ・「日野町子ども15年プラン」、0歳から15歳までの一人一人の子どもの育ちを大切にしたい一貫性のある教育、育ちと学びのなめらかな接続、「授業改革ステップアップ事業」「エキスパート教員ステップアップ事業」、知的好奇心を喚起し活用する力を高める授業づくり、教職員の指導力向上

鳥取県立鳥取養護学校

- ・障がいのある児童生徒等の能力の発揮（困難の改善・克服）、学びに対する意欲を引き出すツール、授業におけるICT機器の効果的な活用

3 成果

三朝町立竹田保育園

- ・魅力ある物的・空間的環境の構成、保育者は子どもを直接指導することなく、保育のねらいを実現、主体性を育むための人的環境としての保育者の援助

鳥取県立米子西高等学校

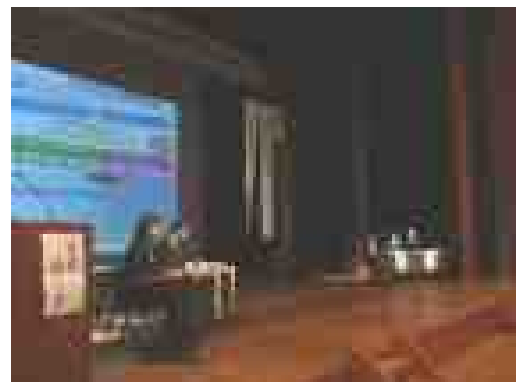
- ・政治的関心の高まり、社会参画への意欲の高まり、投票行動の大切さの理解

日野町教育委員会

- ・〈指導者〉授業方法の共有・改善、つまずきの確認〈児童生徒〉競い合い認め合う場、仲間づくりの場、中1ギャップの解消

鳥取県立鳥取養護学校

- ・学習意欲の高まり、自信の高まり、支援ツールとしての活用



(別紙資料)

分科会Ⅱの概要

1 実践事例の発表（実践報告20分、質疑応答10分、講評5分）

1	「心豊かにたくましく、共によりよく生きようとする散岐っこの育成」 鳥取市立散岐小学校
2	「体育科の授業改革」 ～「できる」「わかる」楽しさを追求できる体育学習を通して～ 南部町立会見小学校
3	「豊かな人間関係を築き、主体的に学び合い高め合う子どもの育成」 ～連携を重視した魅力ある校区づくりをめざして～ 米子市立尚徳中学校
4	「米×米プロジェクト」 ～米子高校生が考える米子市中心市街地活性化計画で育む社会人基礎力～ 鳥取県立米子高等学校

2 取組の概要

鳥取市立散岐小学校

- ・多様で変化の激しい社会、たくましい心身を養い、豊かな心でつながり合い協力し合うこと、多くの課題を解決しようとする力、道徳教育を中心とした研究

南部町立会見小学校

- ・「体育と学級経営」、楽しさや友達との関わりのよさを感じる体育授業（会見モデル）、肯定的集団づくり

米子市立尚徳中学校

- ・小小連携や小中連携の効果的な在り方について研究、主体性を育む体験活動、人権教育を基盤とした「仲間づくり」、仲間同士で絆を深める教育活動

鳥取県立米子高等学校

- ・生徒の視野、コミュニケーション能力、チームワーク力、地域の現状と課題、地域貢献に対する意欲を育んだ地域学習

3 成果

鳥取市立散岐小学校

- ・伝えあう活動の広がり、様々な考えを引き出す書く活動、学習内容を親子で共有、道徳の授業に対する意識の高まり

南部町立会見小学校

- ・児童の運動意欲、体力・運動能力の向上、外遊びの習慣化
集団行動・規則の日常化、肯定的集団の育成

米子市立尚徳中学校

- ・小中連携の強化、信頼関係の深まり、「めざす子ども像」の共有化、「学び合い」の授業についての共通理解、教科の枠を越えた授業づくり

鳥取県立米子高等学校

- ・進路への影響、地域への興味の高まり、協力し合う大切さ、発表後の達成感

